

環境経営レポート



2023 年度

(2023 年 8 月 1 日 ～ 2024 年 7 月 31 日)

作成 2024 年 12 月 25 日

株式会社 トミハラ

I .事業の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 トミハラ

代表取締役 会長 富原 淳

2. 所在地

本社工場: 静岡県菊川市吉沢 344-4



富田工場: 静岡県菊川市富田 50-1



3. 環境管理責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者:技術部部長 鈴木 大志

担当者 :技術部部長 鈴木 大志

連絡先 :TEL 0537-36-4151

:FAX 0537-36-5648

:E-mail tomihara.HQ@tomihara.co.jp

4. 事業の内容

自動車関連部品等の精密金属切削加工

(自動車用計器部品、文具用口金、コネクタ一部品等)

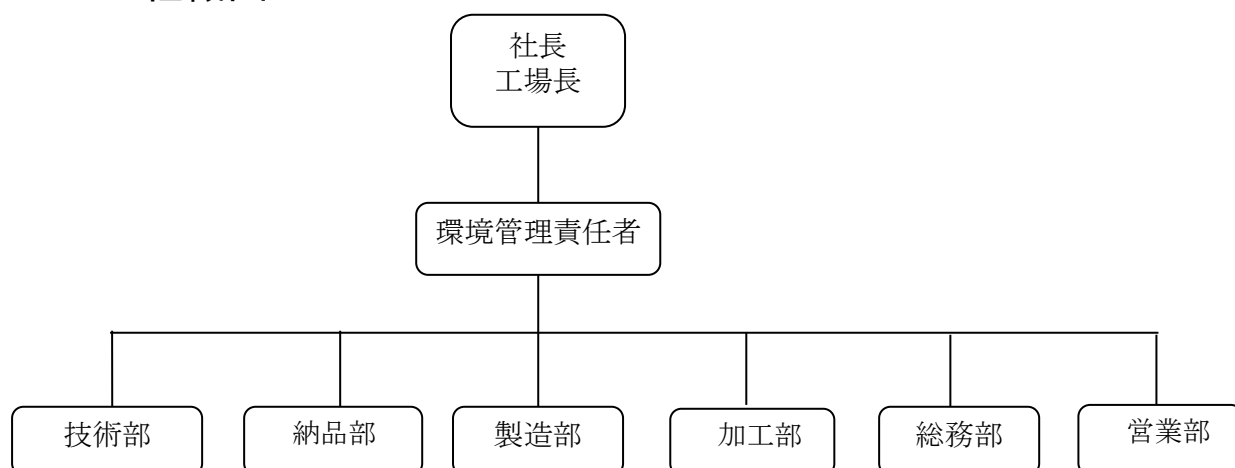
5. 事業の規模

活動規模	単位	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
製品生産量	t	17.2	12.61	11.54	13.85
従業員	人	18	16	15	15
床面積	m ²	831	831	831	831

6. 対象範囲

全組織（本社工場、富田工場）、全活動

組織図



Ⅱ．環境経営方針

基本理念

株式会社トミハラは、

『 地球の環境保全、地域社会との共生 』

に取り組みながら事業を営むことによって、

社会に役立つ製品作りを実現します。

1. 環境経営方針

①環境保全に取り組み、継続的な改善によって環境負荷を削減します。

*二酸化炭素排出量削減 → 省エネによる節電

*廃棄物排出量の削減 → 加工効率向上による金属くずの削減

*総排水量の削減

②環境に配慮した製造事業（製品やサービスの提供）を目指します。

③環境関連法規を遵守し、さらに地域との共生へと努めます。

④環境方針を掲示し、朝礼等を活用し、全従業員に周知させます。

2006年 9月 1日 制定

2018年 8月 1日 改定

株式会社 トミハラ

代表取締役 富原 淳

Ⅲ.環境経営目標

1. 環境経営目標(中期)

環境経営目標		単位	基準値	2023 年	2024 年	2025 年
1	生産量 1t 当たりの二酸化炭素排出量	Kg・CO2/t	8,899	前年度以下	前年度以下	前年度以下
2	生産量 1t 当たりの廃棄物排出量	t/t	3.16	前年度以下	前年度以下	前年度以下
3	生産量 1t 当たりの総排水量	m ³ /t	25.39	前年度以下	前年度以下	前年度以下
4	化学物質使用量	kg		製品等の、化学物質使用量等が、決められている為、製品を改善することは困難である。化学物質使用量を把握する。		
5	生産量 1t 当たりの材料使用量	t/t	3.96	前年度以下	前年度以下	前年度以下

* 基準値は、前年度の値とする。

2. 環境経営目標及び実績 <前年度基準値以下に削減> :2023 年の生産量 13.85t

	項目	単位	2023 年 目標値	2023 年 実績	2023 年 評価	2022 年 実績	2021 年 実績
1	二酸化炭素排出量	Kg・CO2	102,690 以下	102,742	△	102,690	151,351
	(生産量 1t 当たり)	Kg・CO2/t	8,899 以下	7,418	○	8,899	12,002
	電力使用量	kWh	256,818 以下	239,445	○	256,818	309,844
	(生産量 1t 当たり)	kWh/t	22,255 以下	17,288	○	22,255	24,571
2	廃棄物排出量	t	36.49 以下	25.22	○	36.49	42.24
	(生産量 1t 当たり)	t/t	3.16 以下	1.82	○	3.16	3.36
3	総排水量	m ³	293 以下	263	○	293	322
	(生産量 1t 当たり)	m ³ /t	25.39 以下	18.99	○	25.39	25.54
4	化学物質使用量	kg	———	———	———	———	———
5	生産量 1t当たりの材料使用量	t/t	3.96 以下	2.79	○	3.96	4.30

購入電力の排出係数:0.309 0.421(kg-CO2/kWh)

<サーラ e エナジー 中部電力ミライズ: 2021 年度>

IV.環境経営計画

2023年度(2023年8月～2024年7月)環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減（前年度基準）

項目		活動内容		担当	氏名	具体的な取り組み・チェック項目		
A	電気	製造	機械不使用時電源 OFF	製造				
			(製造部:本社工場)		森本	○生産時以外の電源 OFF 確認		
			(製造部:富田工場)		杉本	○生産時以外の電源 OFF 確認		
		2	電気不使用時電源 OFF	全社				
			(昼休み、休み時間)		彦野	○最終現場退出者確認		
			(週末、長期休暇ブレーカー OFF)		大志	○週末	○夏期休業時	○冬期休業時
		3	空調設備温度管理	全社				
			(製造部:本社工場)		彦野	○冷房温度管理	○暖房温度管理	
			(技術部:本社工場)		宮川	○冷房温度管理	○暖房温度管理	
			(製造部:富田工場)		鈴木	○冷房温度管理	○暖房温度管理	
		4	エアー不使用時 OFF、漏れ修理	製造				
			(製造部:本社工場)		川島	○エアー不使用時、コンプレッサー電源 OFF		
			(製造部:富田工場)		大志	○機械不使用時	○夏期休業前	○冬期休業前
		5	エアコン点検	全社	大志	○3 か月に 1 度、目視にて点検		
B	ガソリン	事業所間、運搬車燃費の向上		製造	鈴木	○運転方法の改善、アイドリングストップ、空気圧調整		

2. 廃棄物排出量の削減（前年度基準）

項目		活動内容		担当	氏名	具体的な取り組み・チェック項目		
A	一般廃棄物	1	分別収集	製造	落合	○識別札取り付け・分別リサイクルの徹底		
		2	納入梱包材の返却	製造	杉本	○梱包材返却確認		
B	紙	1	コピー削減・印刷物の裏紙利用	全社	大橋	○カウントの記録・裏紙利用チェック		
		2	記録用紙の書式改善	技術	依田	○検討→書式変更		
C	金属くず	1.	不良品の削減	製造	鈴木	○ISO9000 品質目標とリンク		

3.水使用量の削減（前年度基準）

項目		活動内容		担当	担当	具体的な取り組み・チェック項目		
A	上水	水使用量の削減		製造				
		(製造部:本社工場)			森本	○バレルに使用する水の削減、蛇口の閉め忘れ、漏れ確認		
		(製造部:富田工場)			鈴木	○手洗い場の節水、閉め忘れ、漏れ確認		

4. 地域への取り組み

項目		活動内容		担当	担当	具体的な取り組み・チェック項目		
A	段ボール	地域施設のリサイクル活動に協力		全社	落合	○近隣施設のリサイクル活動に協力		

※活動内容については、通年実施とし、責任者は環境管理責任者とする。

V.環境活動の取組結果

① 2023 年度：二酸化炭素排出量の削減（基準値：前年度基準）

項目		活動内容		担当	評価	活動結果
A	電気	1	機械不使用時電源 OFF	製造		
			（製造部：本社工場）		○	継続して実施出来ている。
			（製造部：富田工場）		○	古い機械は OFF 出来ないものもある。
		2	電気不使用時電源 OFF	全社	○	継続して実施出来ている。
			（昼休み、休み時間）			
			（長期休暇ブレーカー OFF）			
		3	空調設備温度管理	全社		
			（製造部：本社工場）		○	継続して実施出来ている。
			（技術部：本社工場）		○	業務用エアコンに変更 温度の調整に注意した。
			（製造部：富田工場）		○	
		4	エアコン不使用時 OFF、漏れ修理	製造		
			（製造部：本社工場）		○	継続して実施出来ている。
			（製造部：富田工場）		○	
		5	エアコン点検	全社	○	異常は見当たらなかった。
B	ガソリン	事業所間、運搬車の燃費向上		製造	○	効率の良い運行ができた。

② 2023 年度：廃棄物排出量の削減（基準値：前年度基準）

項目		活動内容		担当	評価	活動結果
A	一般廃棄物	1	分別収集	製造	○	実施出来ている。
		2	納入梱包材の返却	製造	○	
B	紙	1	コピー削減・印刷物の紙利用	全社	○	前年度より削減出来たが、裏紙使用を徹底したい。
		2	記録用紙の書式改善	技術	○	改善出来る箇所がないか考えていきたい。
C	金属くず	1.	不良品の削減	製造	○	

③ 2023 年度：総排水量の削減（基準値：前年度基準）

項目		活動内容		担当	評価	活動結果
A	上水	水道蛇口の閉め忘れ削減		製造	○	節水の為、蛇口を変更した。

④ 2023 年度：地域への取り組み

項目		活動内容		担当	評価	活動結果
A	段ボール	地域学校のリサイクル活動に協力		全社	○	継続して実施出来ている。

※評価 ○：良好・積極的に取り組めた △：取り組むことは出来た ×：取り組み無かった

VI.環境活動の評価

今年度は、製品生産量は増加しているが、各使用量は減少する結果となった。

減少したのが、製品の加工工程によるものなのか、効率が良い生産を行ったためなのか検討して今後につなげていきたい。

また、生産量の増加以外の要因による使用量の大幅な増加が無いよう注視していく。

環境活動については、継続して取り組んでいる。今後も各自で取り組めることは、小さなことでも削減やリサイクルにつながる事が無いのか考えていきたい。また、設備の管理や更新、工場の LED 化などを検討し、使用量の削減や効率化について考えたい。

VII.次年度の取組内容

2024年度(2024年8月～2025年7月)環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減（前年度基準）

項目		活動内容		担当	氏名	具体的な取り組み・チェック項目		
A	電気	1	機械不使用時電源 OFF	製造				
			(製造部:本社工場)		川島	○生産時以外の電源 OFF 確認		
			(製造部:富田工場)		杉本	○生産時以外の電源 OFF 確認		
		2	電気不使用時電源 OFF	全社				
			(昼休み、休み時間)		彦野	○最終現場退出者確認		
			(週末、長期休暇プレーカー OFF)		大志	○週末	○夏期休業時	○冬期休業時
		3	空調設備温度管理	全社				
			(製造部:本社工場)		彦野	○冷房温度管理	○暖房温度管理	
			(技術部:本社工場)		宮川	○冷房温度管理	○暖房温度管理	
			(製造部:富田工場)		鈴木	○冷房温度管理	○暖房温度管理	
		4	エアコン不使用時 OFF、漏れ修理	製造				
			(製造部:本社工場)		川島	○エアコン不使用時、コンプレッサー電源 OFF		
			(製造部:富田工場)		大志	○機械不使用時	○夏期休業前	○冬期休業前
		5	エアコン点検	全社	大志	○3 か月に 1 度、目視にて点検		
B	ガソリン	事業所間、運搬車燃費の向上		製造	鈴木	○運転方法の改善、アイドリングストップ、空気圧調整		

2. 廃棄物排出量の削減（前年度基準）

項目		活動内容		担当	氏名	具体的な取り組み・チェック項目
A	一般廃棄物	1	分別収集	製造	落合	○識別札取り付け・分別リサイクルの徹底
		2	納入梱包材の返却	製造	杉本	○梱包材返却確認
B	紙	1	コピー削減・印刷物の裏紙利用	全社	大橋	○カウントの記録・裏紙利用チェック
		2	記録用紙の書式改善	技術	依田	○検討→書式変更
C	金属くず	1.	不良品の削減	製造	鈴木	○ISO9000 品質目標とリンク

3.水使用量の削減（前年度基準）

項目		活動内容		担当	氏名	具体的な取り組み・チェック項目
A	上水	水使用量の削減		製造		
		（製造部:本社工場）			彦野	○パレルに使用する水の削減、蛇口の閉め忘れ、漏れ確認
		（製造部:富田工場）			鈴木	○手洗いの節水、閉め忘れ、漏れ確認

4. 地域への取り組み

項目		活動内容		担当	氏名	具体的な取り組み・チェック項目
A	段ボール	地域施設のリサイクル活動に協力		全社	落合	○近隣施設のリサイクル活動に協力

Ⅷ. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況の確認

実施日: 2024年8月21日

No	法規・条例・規制	適応内容又は規制基準値	担当	遵守状況
1	浄化槽法	年 1 回 浄化槽の検査 点検・清掃	環境管理責任者	○
2	騒音規制法	特定施設の届出 ① 空気圧縮機(7.5Kw 以上) 規制基準の遵守	環境管理責任者	○
3	振動規制法	特定施設の届出 ① 圧縮機(7.5Kw 以上) 規制基準の遵守	環境管理責任者	○
4	特定家庭用機器 再商品化法 (家電リサイクル法)	特定家庭用機器の適正な引渡し、料 金の支払い等 (テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機)	環境管理責任者	該当なし
5	静岡県生活環境の 保全等に関する条例 (騒音に係る特定施設)	特定施設の届出 ①旋盤 ②ボール盤 ③平削り盤 ④研磨機 ⑤空気圧縮機(3.75Kw 以上)	環境管理責任者	○

No	法規・条例・規制	適応内容又は規制基準値	担当	遵守状況
6	静岡県生活環境の保全等に関する条例 (振動に係る特定施設)	特定施設の届出 ①圧縮機(7.5Kw以上)	環境管理責任者	○
7	静岡県条例第32号 (静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例) (08.10.1～)	① 産業廃棄物管理責任者の設置 ② 産業廃棄物処理の委託先の実地確認とその記録の保存 ③ 不適正な処理が行われた場合の必要な措置の実施及び県への報告	環境管理責任者	○
8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	①産業廃棄物管理表交付状況の報告(前年度4/1～翌年度3/31の状況を6/30までに提出) ② マニユフェストの保管(A, B 2, D, E票について5年間) ③マニユフェストB 2票90日, D票90日, E票180日に返送確認 ④廃棄物の収集運搬, 処理の許可を得た廃棄物処理業者と契約書を結ぶこと ⑤ 廃棄物保管基準の遵守	環境管理責任者	○
9	フロン排出抑制法 (エアコン・冷凍冷蔵機器)	3ヵ月に1回 目視による点検 ・異常音 ・外観の損傷、摩耗、腐食、さびその他の劣化、油漏れ、熱交換器への霜の付着 ・庫内温度の確認(冷凍冷蔵機器のみ) ・点検記録の保存(機器廃棄まで) ・第一種特定製品廃棄時の書類の交付・保存(3年間)	担当者	○
10	消防法	① 防災訓練の実施 ② 資源等の適正管理 ③ 危険物貯蔵量種類の変更管理	担当者	○

2. 違反訴訟等の有無

※違反・訴訟等は過去3年間ありませんでした。

※この一年間、近隣住民からの苦情、要望等はありませんでした。なお、
関係当局より違反等の指摘はありません。

Ⅸ.代表者による全体評価と見直しの結果

2024 年 8 月に代表者によるエコアクション21に関する活動のレビューが行われました。

見直し項目		変更の有無		有の場合の指示事項等
		有	無	
1	環境経営方針		○	
2	環境経営目標・環境経営計画		○	
3	実施体制		○	
4	環境経営システム		○	

1. 前年に比べ軽油 23.55L、富田工場での LPG6.83kgとそれぞれ使用量が増えました。

軽油の増加は納品時により燃費の良いディーゼル車を多用した事による結果だと思われます。

富田工場のLPGの使用量の増加については昨年度より湯沸かし器の温度を上げて使用していた事によるものでした。今後は温度調整をこまめにして使用していきたいと思います。その他は前年度に比べ減少しました。

2. 今年度は一部使用量が増えているものもありましたが全体的には減少しました。

エコの意識が浸透してきている結果だと思っています。

今後も少しでも削減できるよう、よりエコの意識を持って努力をしていきたいと思います。

3. 外部からの要求、苦情等はありません。